

プレッシャーナール

烏賊松







——なんでも

触わり方にも
いろいろな方法が
あるが



それは

かならず
逃げ道を確保して
あるという事だ



私が一つ
絶対に気を
つけてる事



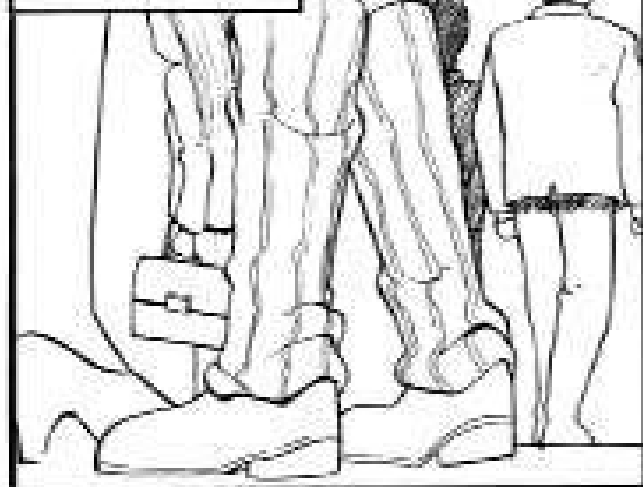
当然といえば
当然だが

衝動に駆られて
場所もわきまえず

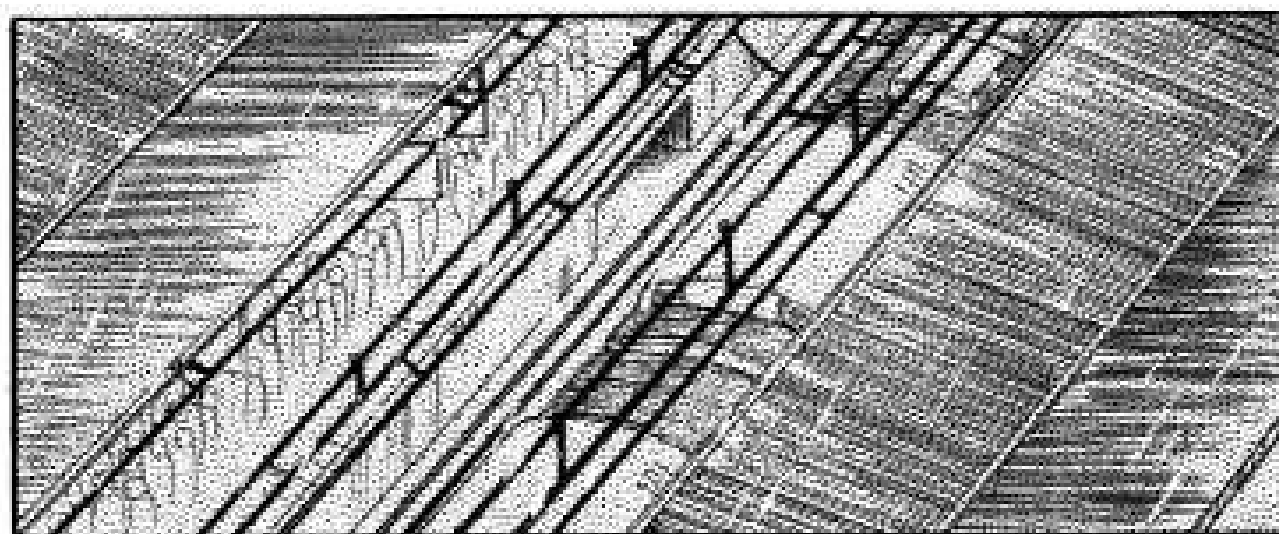
本能のまま
思いつきで痴漢を
するなんて頭が悪い
にも程があるつて
モノだ

そして

少なくとも
それが私のプロ(自称)と
しての最底限のポリシー
でもある訳だ――



が……



その日は
雨で

電車は
異様に混んで
いた――





いやー待て！
万が一声でも出されたら
この中じゃ逃げ場が
ないぞ

自重するべきか…



しかし

このゴに加えて
さっきから背中に
当たってるこの感触は
99%…

胸!!



とりあえず
今はプラス思考で
行こう



顔が全々見えない
からカワイイかどうか
わからないが――

想像〜

前に
おとなしい
女子高生!!
(仮定)

も
じ
も
じ



後ろは
バスト88(推定)の
Dカップ女
(希望的観測)で
女体サントウィッチ
状態!!

い
け
い
け



そして私は
ブロー!!
(誇大妄想)

に
や



こんな好機を
逃して何が
プロフェッショナルだ!!
何がポリシーだ!!

メ
ラ

メ
ラ

メ
ラ

メ
ラ



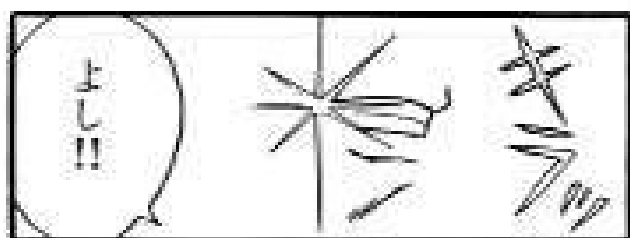
お前は
どうだ?



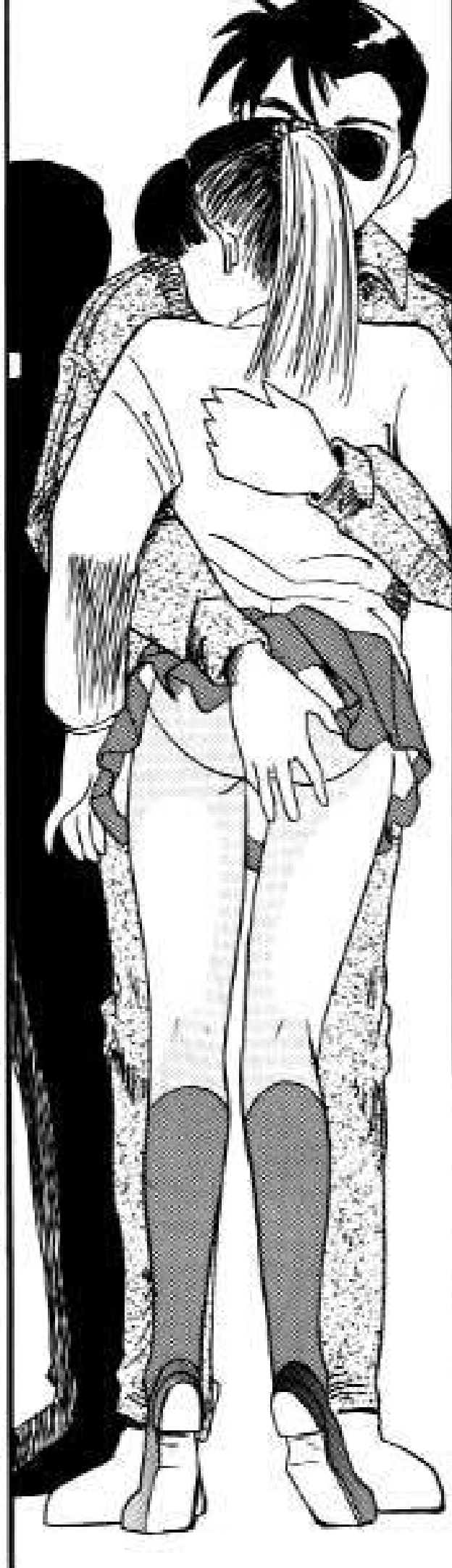
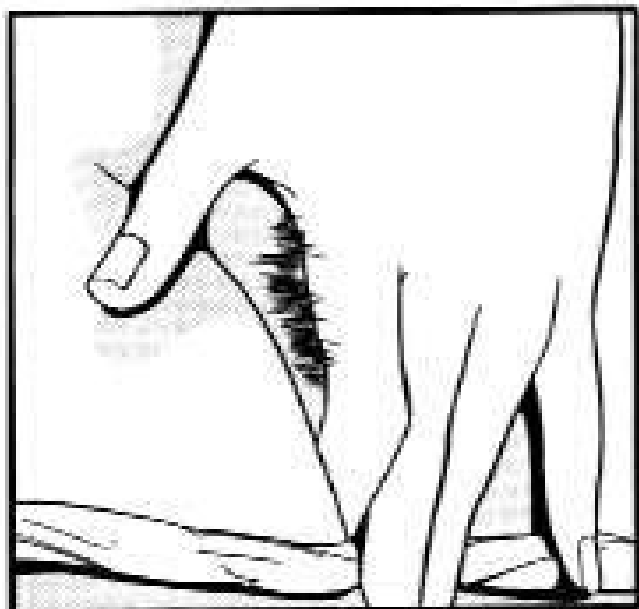
Let's Go!!



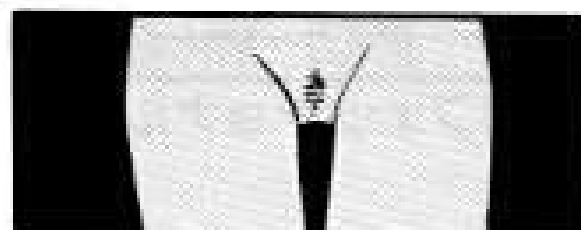
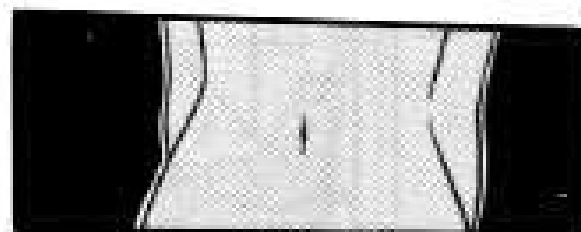
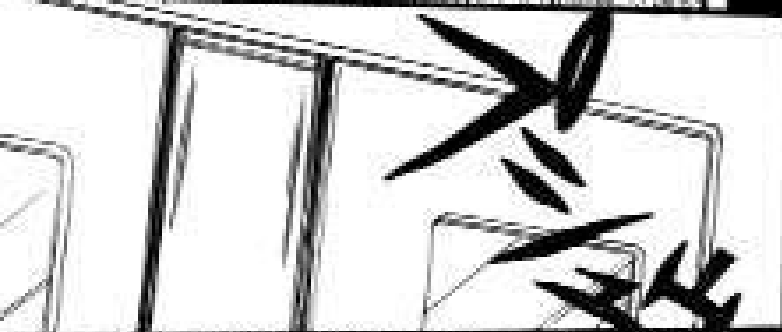
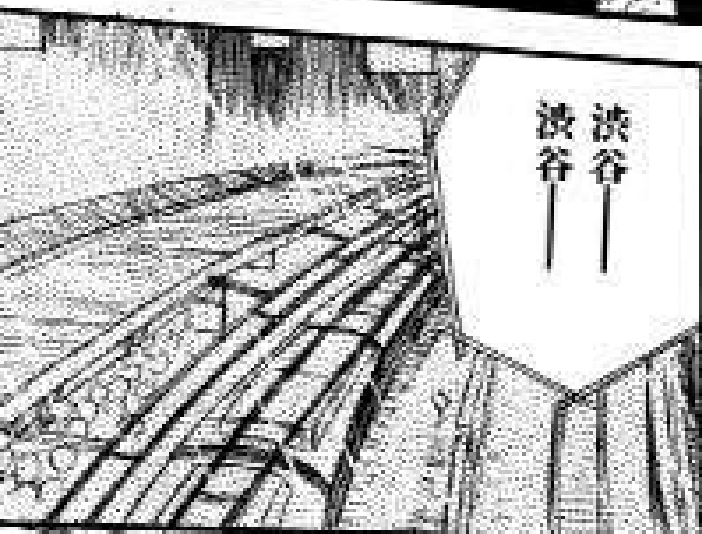
よし!!

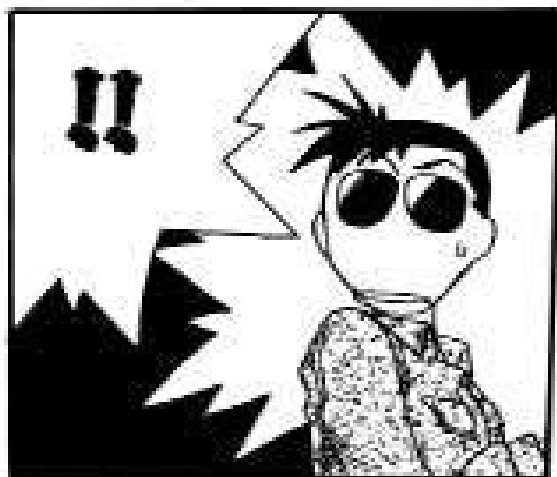












プロフェッショナル/END

www1.nantv.co.jp